

# 赤坂学園

赤坂学園 教育目標

- ・「こころ」を大切にする
- ・「まなび」を大切にする
- ・「いのち」を大切にする
- ・「とき」を大切にする

元気に夏休みを過ごしてください

校長 高松 政則

7月になりました。蒸し暑い日が続いていますが、子供たちはプールで泳いだり校庭を走りまわったりと、元気に楽しい学校生活を送っています。1年生や7年生も学校生活に慣れ、あっという間にもうすぐ夏休みを迎えます。

さて、夏といえば土用(どよう)のうなぎ。今年は7月30日ですが、この時期になるとこの言葉をよく耳にします。そのため、土用というと夏を思い浮かべてしまいがちですが、土用は各季節にもあります。一般的には立秋前の18日間を指し、陰陽五行説で春・夏・秋・冬をそれぞれ木・火・金・水とし、土を各季節の終わりの18日間に当てはめたことから、立春、立夏、立秋、立冬の前の18日間を土用というようです。では、なぜ土用の丑の日にうなぎを食べると夏バテをしないといわれているのでしょうか。有名な話ですので、知っている方も多いとは思いますが、この風習、江戸時代の万能学者、そして発明家でもある平賀源内が仕掛けたものだそうです。知り合いのうなぎ屋が「夏はうなぎが売れない」といって困っていたのを見て、店の前に「土用丑の日、うなぎの日」という貼り紙をしたのです。これが広まり、土用の丑の日にうなぎを食べる風習となったようです。また、夏の土用は、1年の中で最も暑さが厳しいとされる時期にあたるため、江戸時代にはこの期間の丑の日を「土用の丑の日」と重視し、柿の葉などの薬草を入れたお風呂に入ったり(丑湯)、お灸をすえたり(土用灸)すると夏バテや病気回復などに効き目があるとされていたようです。

さらに、元々この日に「う」のつくものを食べると病気にならないという言い伝えがありましたので「う」のつく食べ物＝「うなぎ」として定着したようです。その他、「梅干し」「瓜」「うどん」などもあります。いずれも、食が細くなる夏に食べやすいものです。このような言い伝えは先人たちのありがたいアドバイスともいえるわけです。

この他にも土用の虫干し・土用干しという風習もあります。夏土用の時期に、カビや虫の害から守るため、衣類や書物に風を通して陰干することを土用の虫干しといいます。また、この期間は田んぼに水を入れず、土をひび割れ状態にします。これは雑菌の繁殖を抑える効果があり、根がしっかりと張るそうです。梅干しの天日干しもこの時期ですね。

土用は季節の変わり目ですから、体調を崩さないようにとの戒めも含めた様々な風習があるようです。

物の見方や考え方がどんどん新しいものに入れ替わっていく現代ですが、昔の知恵や教えも大切にしたいものです。夏休みは海や川での遊びにかかわる事故も増えてきます。くれぐれも注意をしていただき、元気に夏を乗りきらせてください。1学期間、ご協力をいただきありがとうございました。



## 7月の行事予定

		1 - 6年	7 - 9年
3	月	朝会（1～4年 体育館） 委員会活動	専門委員会
4	火	安全指導 日生劇場観劇（4年）	中央委員会
5	水	B時程 4時間授業（1～6年） ※1年4組のみ、研究授業のため5時間授業 （14：40下校）	45分授業 区教研B
6	木	避難訓練（5，6年）	避難訓練 領域別テスト（9年）
7	金	B時程	安全指導 特別HR⑤・⑥「防災で考える共に生きる力」
8	土	土曜授業日 B時程 相談日 赤小子どもまつり	土曜授業 第1回進路説明会（9年） 保護者会（情報モラル講習会を含む）
10	月	朝会（1～4年 teams） 朝礼（5，6年） クラブ活動	朝礼 情報モラル講習会（生徒）
12	水	B時程	職員会議（小中合同）
13	木	B時程 租税教室（6年）	
14	金	B時程 避難訓練（5校時 集団下校）	給食試食会（5年～9年）学校保健委員会講演会
18	火	学習ルーム指導終	
19	水	B時程	夏季学園前検診
20	木	B時程 5時間授業 終業式 通知表配付日 給食終	授業（①～③）、終業式、給食のあと大掃除 学活（通知表配布）
21	金	夏季休業日始 個人面談① 夏季水泳指導① 補習①	夏季休業日始 夏季学園（8年尾瀬方面）7/21～7/23
24	月	個人面談② 夏季水泳指導② 補習②	三者面談
25	火	個人面談③ 夏季水泳指導③	三者面談
26	水	個人面談④ 夏季水泳指導④	三者面談 主幹教諭研修会 IMETS（赤坂中会場）
27	木	個人面談⑤	三者面談 主幹教諭研修会 IMETS（赤坂中会場）
28	金	個人面談⑥ 夏季学園事前検診（5年）	三者面談
31	月	個人面談⑦ 夏季学園始（5年）	

## 7月の生活目標

（1 - 6年）	（7 - 9年）
時間の使い方の工夫をしましょう	1学期を振り返ろう

## お知らせ

### 算数少人数より

#### 算数少人数担当

算数では、3年生から6年生は習熟度別少人数指導を行っています。3学級の学年は、4展開ということになります。算数は、他の教科に比べて学力差がつきやすい教科であると言われていています。学級の人数が多いと、学習につまずきのある子供へのサポートがままならないのが現状でした。そのため、1クラス当たりの人数を減らし、習熟度別に分けることによって一人一人の個に応じた指導ができるようにしています。今年は、ノート指導に力を入れています。

#### 特別支援教室の通級及び学習支援員の配置（令和5年度3学期）の申込について 特別支援コーディネーター

平成28年度から、発達について気になる児童を対象に、生活面や学習面での困難を克服・改善するための指導を行うために、本校において通教指導を行う特別支援教室（学習ルーム）を開室しております。

また、通常の学級の教室内での一斉指導において、苦手な部分を補うために、個別的な支援を行うために学習支援員を配置しているところです。

現在、これらの支援を受けておらず、今後、特別支援教室の通級あるいは学習支援員の配置を希望される保護者の方は9月11日（月）までに、担任、特別支援コーディネーター、または副校長までご相談ください。